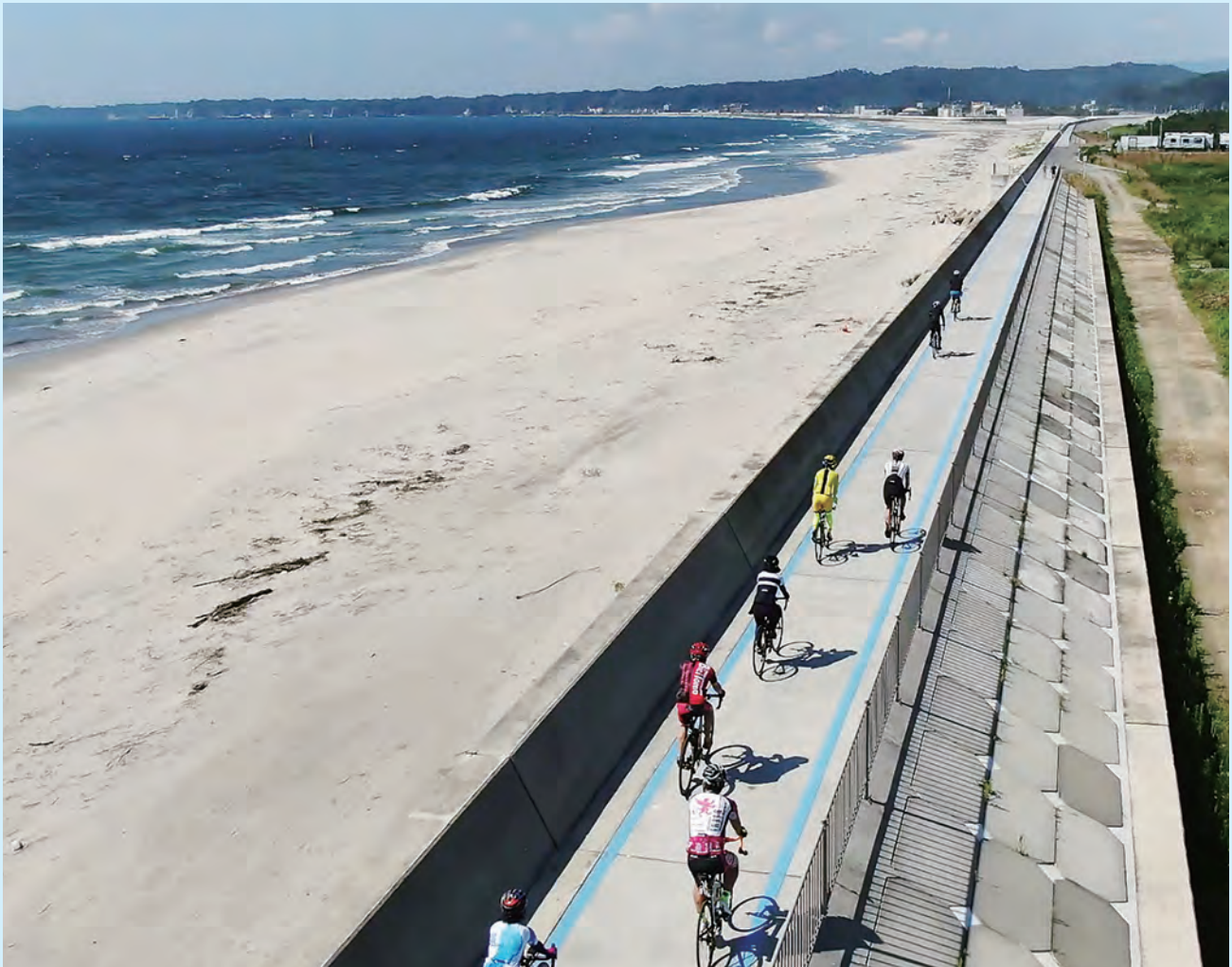


いわき市・東日本大震災復興記憶集

～未来に残したいあの日の「**想い**」・明日への「**希望**」～



いわき市



表紙紹介

表紙写真は、令和3年3月に全線開通した復興サイクリングロード「いわき七浜海道ななはまかいどう」です。いわき市の海岸線は約60キロメートルあり、いわき七浜海道は、本市の北から南を結ぶ久之浜防災緑地から勿来の関公園までの総延長約53キロメートルのサイクリングロードで、復旧・復興事業によって整備された防潮堤や既存の道路などを活用して整備しました。白砂青松が広がる本市特有の美しい海岸線を楽しむことができます。

【発刊にあたって】



～震災から10年を経過した今、 後世に伝えたい「記憶」や「想い」～

いわき市長 清水 敏 男

大地震や大津波、原発事故など、これまで経験したことのない複合災害に見舞われた東日本大震災から10年。この大震災により犠牲になられた方々に対しまして、深く哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

本市は、市民の皆様のご努力はもとより、献身的な活動をしていただいた数多くの関係者の皆様のおかげで、震災からの復旧・復興への歩みを着実に進めてまいりました。

改めて、これまでのご尽力に深く敬意を表しますとともに、物心両面にわたるご支援に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

これまでの着実な歩みが形となり、生活基盤の整備は概ね完了しており、現在は、津波被災地域のコミュニティの再生や心のケア、原子力災害に起因する課題への対応等に注力しているところです。

この震災からの復興の途上で、本市は、令和元年東日本台風等の大規模な自然災害に再び見舞われ、さらに現在は、新型コロナウイルス感染症という世界的な危機に直面しております。

本市はこれまでも、こうした幾多の困難な局面を迎えるたびに、先人の^{えいち}叡智と努力により、力強くしなやかに立ち上がってまいりました。今後も、復興の先を見据え、これらの課題に全力を挙げて取り組んでいくとともに、これまでご支援や励ましをいただいた多くの皆様との「絆」を大切にしながら、市民の皆様をはじめ多様な主体の皆様と力を合わせて、この危機を乗り越え「住んで良かった、住み続けたい」と思える^{ふるさと}故郷の「いわき新時代」をしっかりと築いてまいります。

本市では、震災から10年を迎えるに際し、被害の全容や復旧・復興・創生に向けた取組みを総括した『ふるさとの復旧・復興・創生を未来に紡いで いわき市・東日本大震災の10年』を本年3月に刊行いたしました。今回刊行した本誌は、震災から10年を経過した今、後世に伝えていきたい様々な「記憶」や「想い」を、復旧・復興・創生にご尽力いただきました皆様から寄稿していただき取りまとめたものです。

全国的にも近年、激甚災害が多発しておりますが、本誌が今後の防災対策や災害発生時の対応の一助となるとともに、震災で得た貴重な教訓や多くの皆様と築き上げてきた「絆」が将来にわたる連携・協力の契機となり、安全・安心なまちづくり等に少しでもお役に立てば幸いです。

結びに、本誌の刊行に当たり、ご多忙の中、大変貴重な「記憶」や「想い」をお寄せいただきました皆様に心から感謝を申し上げます。

令和3年7月

目次

発刊にあたって 市長あいさつ	1
----------------------	---

第1章 東日本大震災の全容

1 東北地方太平洋沖地震の発生	
（1）大地震の概要	4
（2）大地震が引き起こした大津波	4
（3）直下型の誘発地震	5
（4）被害概要	5
（5）原子力発電所の事故といわき市への影響	5

第2章 東日本大震災からの復旧・復興・創生

1 多くの支援・協力を得て、初期活動を展開	
（1）全国から寄せられた多くの支援	6
（2）義援金の受け入れ	7
2 産業の再生・復興を力強く推進	
（1）農業の再生を目指しながら、いわき農産物の安全・安心を発信	7
（2）厳しい漁業環境の中、「常磐もの」の魅力発信	7
（3）新たなエネルギーの創出	8
（4）観光交流人口の拡大を目指して	8
3 被災者への支援	
（1）地域コミュニティの確立と心の復興	9
（2）市外に避難しているいわき市民への支援	9
（3）被災自治体の受け入れと連携	9

第3章 震災を継承して防災の未来づくり

1 大規模災害に備えた対応	
（1）原子力災害への対策と津波ハザードマップの作成	10
（2）避難訓練	10
（3）大規模災害時の防災拠点を整備	10
2 東日本大震災の記憶・記録を未来に	
（1）語り継がれる震災	11
（2）いわき市における震災継承の取り組み	11
（3）未来に伝承する力	12
写真から見る復興と創生	13

第4章 復旧・復興・創生にご尽力いただいた皆さんからのお言葉 - 寄稿文 -

安倍 晋三 (東日本大震災復興記憶集に寄せて) ……	18	お食事処一膳 (「感謝の気持ちと温かい会話が助け 合いを生む」) ……	54
吉野 正芳 (発災から10年を迎えて) ……	19	井上 直美 (震災の経験や教訓を生かしたこれからの 観光) ……	55
森 まさこ (～大震災を忘れず 未来へつなぐ～) ……	20	ラウレア美咲 (笑顔のバトン、これからも) ……	56
渡辺 敬夫 (市民の笑顔を求めて) ……	21	小井戸 英典 (仲間たちと乗り越えたあの日々、応 援・支援に感謝) ……	57
蛭田 克 (大震災で受け止めたこと、そして今後に託 したいこと) ……	22	大場 ますみ (旅館の女将としてのこの10年、そして 希望) ……	58
長谷部 誠 (東日本大震災から10年に寄せて) ……	23	安部 義孝 (アクアマリンふくしま復活日記) ……	59
首藤 正治 (兄弟都市・延岡市として) ……	24	大倉 智 (震災から10年～目の前にある現在進行形の 事実と、我々の使命。) ……	60
武井 雅昭 (東日本大震災から10年を迎えて) ……	25	長谷川 浩一 (ふるさといわきの地域の守り手) ……	61
久保田 后子 (「石炭のまち」つながりの支援と交 流) ……	26	坂本 憲弘 (東日本大震災時の手記) ……	62
篠田 昭 (一日本海側の「防災・救援首都」を目指し て) ……	27	高橋 龍之 (ふるさと“いわき”のためひたすらに頑 張った、災害廃棄物処理) ……	63
高山 淳一 (復興支援といわき市からの教示) ……	28	木幡 都美雄 (復興10年目にあたって) ……	64
戸高 祐樹 (第二の故郷) ……	29	強口 暢子 (共に助け合い、支え合える風土を) ……	65
小酒 広也 (震災復興・側溝堆積物撤去事業に携わっ て) ……	30	篠原 洋貴 (東日本大震災から十年を迎え～新たな支 え合いの構築に向けて～) ……	66
和田 正寛 (災害に備え地域を支える「つ・な・が・ り」) ……	31	鈴木 一 (東日本大震災と訪問活動の重要性) ……	67
本間 浩 (東日本大震災災害派遣活動を振り返って) ……	32	大越 幸子 (あの日から…) ……	68
矢内 廣 (エンタテインメントの力で「心の復興」 を) ……	33	青木 孝子 (東日本大震災から10年が過ぎ) ……	69
増田 明美 (心にサンシャイン) ……	34	草野 祐香利 (どんな時も誰もが皆、豊かに生きるた めに) ……	70
伊澤 史朗 (一葉町への帰還を目指して) ……	35	木田 光一 (東日本大震災時におけるいわき市医師会 の医療救護活動) ……	71
遠藤 智 (いわき市・東日本大震災復興記憶集への寄 稿) ……	36	星 篤雄 (放射線の心配・不安に付きあって) ……	72
植頭 康裕 (東京電力福島第一原子力発電所事故への 対応) ……	37	吉田 恵美子 (学びを活かして次へ進む) ……	73
吉川 彰浩 (福島＝人を社会を、豊かにする場所と 思ってもらえるために) ……	38	大谷 慶一 (茫然自失の日々、あれから10年) ……	74
栗城 英雄 (一海まち・とよま) ……	39	遠藤 守俊 (震災より10年 復興の歩み) ……	75
岩村 康次 (地域とともに取り組んだ、「いわき“絆” プレイス」創りへの想い) ……	40	橋本 和彦 (『復興さくらの会』の事業紹介) ……	76
鈴木 賢治 (2031年に向けて) ……	41	小松 理虔 (「当事者」をはなれて) ……	77
古川 孝一 (『横浜発⇄いわき行き』の“架け橋”と して) ……	42	半澤 卓 (備えの大切さ) ……	78
カンニング竹山 (いわきの元ヤンキーを探して。) ……	43	白土 健二 (「あの時の記憶」) ……	79
大久保 克己 (防災対策の一手 消防団員の確保) ……	44	大竹 保男 (東日本大震災 巨大余震4・11の恐怖) ……	80
遠藤 和子 (勇気を出して！命を守る！一声を) ……	45	木村 芳秀 (「海と山の交流」が育む災害支援) ……	81
大沼 俊之 (「はばたこういわきから 日本へ 世界 へ 未来へ」) ……	46	阿部 忠直 (東日本大震災からの歩み) ……	82
有働 幸江 (命をつなぐ行動のために) ……	47	根本 信一 (復興へ…変わる町と変わらないこと) ……	83
根本 一雄 (大震災が無ければ) ……	48	ベティ (「言葉のちから・ラジオのチカラ」) ……	84
今野 隆 (障がい者と健常者が共生し地域の活性化と 文化の発展を目指して) ……	49	新谷 史明 (試されたレジリエンス) ……	85
白石 長利 (10年前のあの日から) ……	50	阿部 宏太郎 (10年を顧みて) ……	86
小野 栄重 (「世界に誇れる復興モデル都市」の実現 に向け駆け抜けた10年) ……	51	松本 守利 (救助のための「道づくり」) ……	87
齊藤 和治 (震災を忘れない) ……	52	金成 恭一 (東日本大震災を振り返って) ……	88
安島 浩司 (食を通して地域の「ライフラインを守 る」ことが使命) ……	53	片岡 研一 (「支えに感謝」) ……	89
		遠藤 喜一 (10年前の記憶) ……	90
		江尻 保広 (小名浜港が果たした役割とさらなる飛躍 へ) ……	91

(敬称略)